

各 On-site Laboratory 概要

<京都大学上海ラボ>

「京都大学上海ラボ」は、本学化学研究所と、中国におけるトップ大学の1つである復旦大学が、復旦大学構内に共同で設置し、化学分野（新材料、エネルギー変換、ケミカルバイオロジー）の最先端研究を推進するラボです。本ラボの設置を契機に、上海地区の研究機関との連携強化による国際共同研究・共同利用の拡大が期待されます。

<マケレレ大学遺伝学・フィールド科学先端研究センター>

「マケレレ大学遺伝学・フィールド科学先端研究センター」は、本学霊長類研究所と、長年にわたりフィールド研究で協力してきたウガンダのトップ大学であるマケレレ大学がマケレレ大学構内に共同で設置し、主にウガンダのカリンズ森林に生息する動植物を対象としたフィールド研究と遺伝科学を融合した先端研究を推進するラボです。本ラボの設置を契機に、最先端研究の推進・拡大のみならず、欧米の研究機関との連携強化も期待されます。

<グラッドストーン研究所 iPS 細胞研究拠点>

「グラッドストーン研究所 iPS 細胞研究拠点」は、本学 iPS 細胞研究所と、医学研究に強みを持つアメリカ・カリフォルニア州のグラッドストーン研究所が、グラッドストーン研究所内に共同で設置し、新たな生命科学分野の開拓及び iPS 細胞の医療応用研究への貢献を目指すラボです。本ラボの設置を契機に、iPS 細胞に係る最先端研究のより一層の伸長のみならず、若手研究者の育成等も期待されます。

<量子ナノ医療研究センター>

「量子ナノ医療研究センター」は、本学高等研究院物質—細胞統合システム拠点（iCeMS）と、アメリカ西海岸のトップ大学の1つであるカリフォルニア大学ロサンゼルス校が、京都大学内に共同で設置し、新学問分野である量子ナノ医療研究を推進するラボです。本ラボの設置を契機に、本学の強みを活かした最先端研究のより一層の伸長や、UCLA 及び現地の産業界との連携強化が期待されます。

<比較認知科学ラボラトリー>

「比較認知科学ラボラトリー」は、本学高等研究院と、ウマ学の研究で学術的強みを持つフランスのソルボンヌ・ヌベル大学（パリ第3大学）が、ソルボンヌ・ヌベル大学構内及び京都大学構内それぞれに共同で設置し、ウマ及び霊長類を対象とした比較認知科学研究をとおして、人間の心の進化の解明を目指すラボです。本ラボの設置を契機に、ウマ学や霊長類学のみならず、心理学や認知科学等の融合による最先端研究のより一層の伸長や、欧米からの多数の若手研究者・学生の参画による国際化推進への貢献が期待されます。

<統合バイオシステムセンター>

「統合バイオシステムセンター」は、本学高等研究院物質—細胞統合システム拠点（iCeMS）と、台湾總統直轄の研究所である中央研究院（アカデミアシニカ）が、中央研究院内に共同で設置し、生物科学分野の国際共同研究を推進するラボです。本ラボの設置を契機に、最先端研究のより一層の伸長、現地の大学、産業界や他研究機関との連携拡大、現地学生との交流拡大等が期待されます。